令和５年度　横浜市学力・学習状況調査から

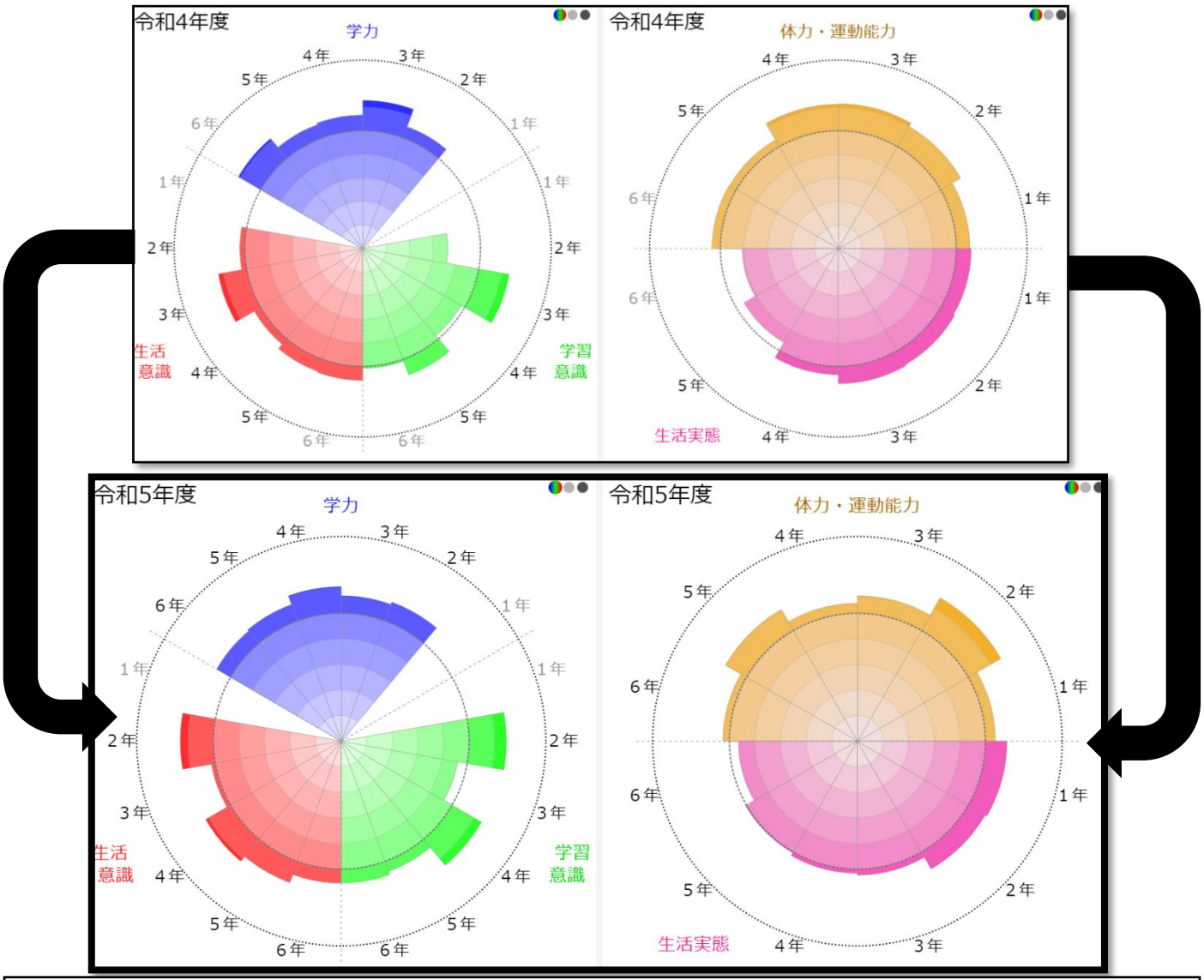
令和5年4月に、2～6年生を対象に実施しました、横浜市学力・学習状況調査の結果です。横浜市全体と各学年の観点別平均正答率を表にして記載しています。なお、前年度に学習した内容についての学力と、学習意識を調査しているため、1年生は実施しておりません。

本校では、「自ら問い、自己選択・自己決定しながら学び続ける子どもの育成」を目指しており、子どもたちが主体となって参加する学習を進めています。

学力については、各教科の「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに、横浜市の平均と同等か、それ以上の結果となりました。さらなる「子どもたちの主体的な学び」を目指し、今年度も引き続き日常の学習の中での知識・技能の定着を図ったり、ICT 機器を積極的に取り入れたりするなど、学習活動を通して力を伸ばしてきました。児童質問紙調査では、「自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集めたり話し合ったりすることができる（全学年共通の項目）」「タブレットで言葉や絵などを送るときは、相手の気持ちを考えることができる（2・3年生のみの項目）」「タブレットやパソコンを使って、自分の考えをまとめたり、作品や発表資料等を使ったりすることができる（4～6年生のみの項目）」で、横浜市の平均よりも高い結果でした。

体力・運動能力については、本校の職員だけでなく、近隣のスポーツ施設と連携して子どもたちの体力向上を目指しています。今年度は、その一環として、体育の学習で、走り方教室を行ったり、タグラグビーやフラッグフットボールの指導を外部と連携して実施したりしました。

白幡小学校の子どもたちや地域の強みを生かしながら、今後も継続して、学力や学習意識、体力・運動能力を高めていきたいと考えています。



令和5年度の結果は現在の学年、令和4年度の結果はその当時の学年の結果・回答を参照しています。